

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7

労働会館東館3F

TEL 052-871-5433

FAX 052-871-5618

URL http://www.airoren.gr.jp

発行人 樽松 佐一

第104号 2002年3月10日

愛知万博の中止・返上と県民生活の向上を求める要求署名

3月18日(月)に第1次提出です。手元の署名は急いで各組合事務所か愛労連まで集中を！
最終は5月末。目標の50万筆へ頑張りましょう。

小泉内閣の悪政をぶっとばそう

2002 春闘 Topics



2月10日、海部・津島から争議をなくそうと集会に200名。蟹江町では30年ぶりのデモ



トヨタ社員も社外工もサービス残業なくそうトヨタ総行動には210名が参加(2月11日)



2月24日、名古屋で自動車パレードを80台で実施。3月3日には、豊橋で61台参加



3.1ピキニでは、米・ブッシュ政権と小泉内閣の危険な狙いが明らかに。愛知からは109名参加



雇用・くらし・いのちを守れと1000名が参加して自治労連が自治体労働者決起集会(3月1日)



医療署名とポスター掲示を病院へ要請(海部・津島労連)

愛労連と愛知春闘共同委員会は2月21日、県下25地域で「雇用確保・不況打開」「暮らしの最低保障」「いのちと健康」の要求課題を柱とした、宣伝・署名行動、労組・自治体・業界申し入れ、集会・デモなど創意的で多様な統一行動を展開し、春闘の幕開けをアピールしました。

2・2・1 総 行 動

いのち・くらし・雇用まもれと たたかう春闘をアピール

早期からの各駅前、主要バス停、工場前など県下約200カ所での宣伝には約1000名が参加、住宅などへの地域配布とあわせて7万枚を配布しました。医療改善の反対で共同を広げるとりくみでは、17の地域で医療機関や薬局、医師会、老人会、公職者、地域の労働組合、商店街などにポスターの掲示や署名への協力を訴えました。一宮市の医師会では、「これまで席を共にすることはなかったが、お互いにやっていることは同じ。頑張ってください」と激励もされました。

職を求める人たちがあふれるハローワーク(職安)前では、働くルールの確立を求める署名と医療改善反対署名の呼びかけや、労働基準監督署への申し入れなどに8つの地域がとりくみました。

しました。

名古屋南職安前では、熱田労連の人たちが朝から署名を呼びかけました。行動に参加した全労働労組名古屋南職安分会の下村分会長は、「この職安で扱っている失業給付は月間約6000人ですが、バブルのころは2000人程度でした。求人も正規雇用型は減っています。『希望退職』で職を失ったという人が増えています。やめてもらうのを後押しするような政策を変えて、サービス残業規制などを本格的にしないと本当にもなりません」と語っていました。

このほか、自治体への要請行動では、一宮や海部・津島労連がとりくみ、港地

くらしを守るみんなの力総結集しよう

4月12日は国民総行動

長引く不況と小泉内閣の国民に「痛み」を押しつける政策でわたしたちの暮らしはますます厳しくなっています。

小泉内閣は「まきこ・宗男騒動」で急速に支持率を落としています。医療改善法案の提出、さらには有事法制の成立をも国会でねらっています。医療改善と戦争に反対する国民の声

は大きく広がっており、共同の運動を大きく広げることができれば阻止することは可能です。全国では、全労連や保団連、民医連、全商連、新婦

人などの9団体が共同で、「医療改善反対、雇用、くらし、いのちを守る4・12国民総行動」を成功させることを訴えています。すでに愛知では、広範囲な参加で、「いのちとくらしを守る共同行動実行委員会」を発足させ、3・21県民集会の開催と参加をよびかけ、愛労連は4月12日に、ストライキや職場集会をはじめ、地域での宣伝・集会・デモを計画し、職場・地域から、小泉内閣の痛みNOのうねりをつくろうとよびかけています。

争議 丸八商運、加藤楽器 次々と勝利解決



和解調印を終えた加藤楽器の仲間

「労働調停」が成立 組合結成から3年半、組合を嫌悪した会社からの嫌がらせで賃金を半分に削られながら頑張っていた丸八商運のたたかいが2月22日、名古屋地裁初の「労働調停」で解決しました。調停の主な内容

容は、賃金の回復、未払い賃金の支払い、不当配転の撤回など6項目。 全国一般・加藤楽器 解雇撤回で和解調印 昨年10月の解雇以来、組合結成し、自主交渉と各地裁での仮処分裁判をたたかってきた加藤楽器の仲間は、2月27日、和解協定が成立し4カ月でスピード解決しました。主な内容は、解雇撤回、賃金・未払残業代・解決金の支払いなどです。

有事法制許さぬために学んで行動しよう

「私は志願兵だったんだよ」と戦前のことを語ってくれたのは、みなさんもよくご存じの成瀬昇さん。小泉内閣が3月中旬にも有事法制を国会に提出しようとしています。が、当時のことを振り返ってお話ししていただきました。

この戦争は聖戦だと信じ込まされてきた

成瀬さんは、1941年（昭和16年）、16歳から郵便局の電信課員として働いていました。19歳の時に海軍の甲種飛行予科練習生に志願しました。



成瀬 昇さん
現在、全国革新懇代表世話人、愛労評議長や初代愛労連顧問などを歴任

「いま考えると、本当に真実を伝える教育や戦後憲法に保障された言論・出版の自由、結社の自由が大切だね。国の言うこと以外に学校で学んだこともなかったし、働いていても労働組合なんて非法法でなかった。日本の仕掛けた戦争が侵略戦争ということも教えてくれる書物などは何もなかった」と。

「八紘一宇（戦前、日本の海外侵略を正当化するために用いた標語）のもと、臣民として天皇につくすことが当たり前だと思っていました。そうでなくとも20歳になれば徴兵検査を受け、軍人になるのだから」と志願の動機を語ります。

海軍電測学校初等部に2等飛行兵として入ったのは、1944年11月15日のことでした。そこではレーダー機器の操縦を学びました。10数名の班が編成され、ことあるたびに連帯責任だと、体罰で尻から太股にかけていつも黒ずんでいたと言います。6カ月後に、初等部を終えた成瀬さんは、同校の高等部へと進み、8月15日、レーダー機器を製造していた電波兵器

の性能も日本より数倍あったこと、教官から「そり、戦争は負ける。命を大事にしろ」と言われたそうです。

小泉内閣が米・ブッシュ政権に追随し、アメリカの起す無法な戦争に協力し自衛隊だけでなく国民も動員しようとする有事法制について、「政府は、テロとか不審船などいろいろ理由をくつつけているが、真実は違う。本当のことを伝えれば、みんな必ず理解してくれる」と、多めに学び、行動しよう」と締めくくられました。



昨年、東京都の防災訓練では、銀座を自衛隊がパレード（写真提供：連合通信社）

労働相談110番

「お前は嫌いだ」と首切り 労働組合つくってたたかった

愛労連に寄せられる労働相談は、いよいよ深刻さを増しています。2月には50件の大台に乗り、今月も年度末でさらに件数の増加が予想されます。

相談内容はやはり解雇・退職強要、賃金未払いが圧倒的。昨年11月から今年1月までに111件の相談が寄せられました。解雇・退職

強要が32件、賃金未払いが29件となっています。「社長と今後のことで話をしているところに、その息子が入ってきて『お前はさらいだ。やめろ』などとやめろ、社長はこれを黙認し結局クビになった」「社長に呼び出され、『仕事の切がったのでやめてほしい』といわれた。その理由

は『仕事ができない、やる気がない』などというもので自己都合にさせられた。予告手当は請求できるか」「社長から電話で『不渡りを出したので、会社を閉鎖する。未払い分は何とかする』と言われたが、平成11年分68万円、12年分16万円、13年分8万円をまだもらっていない」。



こうしたなか、組合を結成してたたかってきた全国一般ヒット通商支部は親会社と和解し、同加藤楽器製作所支部も早期和解を勝ちとっています。加藤楽器支部の柏谷康太書記長（27）は「この争議で、正しいことを筋を通してやれば結果はついてくることを学びま



黒田 清美さん
銀行産業労働組合愛知県支部

「高コスト体制」の是正などと称して、大企業が人件費を抑制、海外に生産拠点をシフト換えし、下請けを整理淘汰する。こうしたもて労働者も正規労働者が激減し、失業者、不安定雇用労働者が増大しているのです。

愛労連は、3月7日に愛知労働局との交渉を配置して行政の責任を追究し、さらにこうした実態を広く宣伝していきます。そして労基法違反の「掃と」、リストラは万能」とする政治の流れを断ち切るためのたたかいを大きく前進させていくこととしています。

UFJ銀行枇杷島支店に勤務する黒田清美さんは銀行産業労働組合（産労）の組合員。今年の1月15日に旧東海銀行と旧三和銀行が統合してUFJ銀行が誕生しましたが、旧東海銀行で高校卒業以来勤務してきました。ここ10数年は、窓口担当として働き、現在はローカウンターで口座開設や定期預金業務、投資信託の販売などを取り扱っています。

2000年9月、甚大な被害を生んだ東海豪雨で枇杷島支店は1メートル以上の浸水被害にあいました。以降、長時間残業が半年以上続きましたが「こんな時だから」という遠慮から残業代を請求しにくい状況が生まれていました。黒田さんは、このことを団体交渉で取りあげ、昨年5月に未払いの残業代

を支払わせることができました。水害による忙しさも一段落した頃から、今度は東海・三和両銀行の統合に向けた準備、事務処理はすべて三和方式にされ、慣れない業務と複雑さから、旧東海銀行の店舗では窓口でも自動機の前でもお客さんが行列を成しました。忙しのさなかで、人間関係も悪くなっています。統合当初は、午後10時までの残業することもしばしば。現在でも8時までの状態が続いています。パートで働く人たちに仕事を教える余裕もないことから、「もうこんな耐えられない」「統合がなかったら」と職場を去るパートさんも生まれています。「統合の是非は別としても、こうしたことのないように、もっと時間をかけて統合すべきですね」と。

UFJ 合併で窓口に行列、職場は残業

信頼を築くために 人間らしく働きたい

この仕事をしていた良かったことは？と訪ねると「長いおつき合いになる奥さんが、主人が退職するんだけど運用をどうしたらいい」と相談されたんですが、お客さんに信頼してもらえることが本当に嬉しいですね」と語ります。次々に明らかになる食品の偽装問題や田中相の更迭問題など、ウソだらけの世の中にあって、信頼をまじめに築いてきたその姿は、冷めかけた心を暖めてくれました。

全労連・全国いっせい労働相談
愛労連いっせい労働相談
とき 3月26日(火)～28日(木)
AM9:30～PM8:30
電話 052 881 1411
県外の方でもOK。ご家族やお知り合いが困りのお電話ください。

愛労連青年協
街かど労働相談
とき 3月31日(日)
AM11:00～PM1:00
ところ 栄小公園(名古屋三越北)
青年のための路上相談を実施します。